

e-Learning 運営委員会

平成23年度

第1回 平成23年 7月12日(火)

第2回 平成24年 2月27日(月)



平成 23 年度 第 1 回 e-Learning 運営委員会

1 日 時 平成 23 年 7 月 12 日 (火) 16 : 45 ~ 18 : 15

2 場 所 岡山理科大学 第 21 号館 1 階 会議室

3 参 加 者 e-Learning 運営委員

4 議 題 案

- (1) 平成 22 年度 VOD 科目受講状況について 【会議資料番号 : 1】
- (2) 平成 23 年度前期 VOD 科目受講状況について 【会議資料番号 : 2】
 - ・履修科目登録の上限 (単位数) に対する対応
- (3) 平成 23 年度後期 VOD 科目の配信予定について 【会議資料番号 : 3】
 - ・平成 23 年度後期の学生募集ちらし
- (4) 平成 24 年度 VOD 科目の配信予定について 【会議資料番号 : 4】
- (5) e-Learning 関連規程類について 【会議資料番号 : 5】
 - ・著作権処理の流れ
- (6) 平成 24 年度以降の事業継承について 【会議資料番号 : 6】
 - ・将来構想委員会での審議状況
 - ・e-Learning 運営委員会としての継承構想
- (7) その他の事項について

5 e-Learning 運営委員会出席者一覧

大学名	職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター准教授(FD部門員、FD委員会委員)	天 野 憲 樹	出
	教育開発センター助教、IT活用教育委員会委員	長 瀧 寛 之	欠
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂 宥 子	欠
	主任	下 山 英 治	代理
	主任	平 松 倫 子	出
岡山学院大学	教授	正 司 和 彦	欠
	講師	竹 中 一 平	欠
	教授	竹 原 良 記	代理
岡山商科大学	経営学部教授、情報教育センター長	小松原 実	出
	岡山商科大学オフィス コーディネーター	矢 延 里 織	出
岡山理科大学	情報科学科教授	大 西 荘 一	出
	情報科学科教授、学務部長	榊 原 道 夫	欠
	情報科学科准教授、学務部次長	河 野 敏 行	出
	大学事務局次長、学務部事務部長	宮 本 正	欠
	学務部次長	澤 原 広	出
	情報処理センター主任	西 崎 書 彦	欠
	大学教育連携センター長	木 村 宏	出
	大学教育連携センター副センター長、情報処理センター所長	竹 内 涉	出
	大学教育連携センターコーディネーター	北 村 光 一	出
	大学教育連携センターe-Learning 専門スタッフ	岡 戸 真理子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大 槻 剛 巳	欠
	自然科学准教授	虫 明 基	出
川崎医療福祉大学	学長補佐	金 光 義 弘	欠
	医療情報学科講師	小 池 大 介	出
環太平洋大学	学級経営学科講師	熊 田 岐 子	出
	情報センター員	星 野 太 一 郎	出
吉備国際大学	社会学部ビジネスコミュニケーション学科教授	佐 藤 匡	欠
	文化財学部文化財修復国際協力学科准教授	高 木 秀 明	出
倉敷芸術科学大学	産業科学技術学部教授	村 山 公 保	出
	学務部教務課長	忠 政 慎 也	出
	学務部教務課	長 谷 輝 章	出
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加 藤 充 美	出
	音楽学部教授	竹 内 京 子	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科講師	小 林 伸 行	欠
	総合人間学部生活心理学科准教授	片 岡 武	代理
就実大学	教務担当係長	矢 吹 優 子	出
	教務担当事務員	岸 本 京 子	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授	福 森 護	欠
	現代生活学部教授	森 恵 子	出
	子ども学部教授	林 修	出
	現代生活学部准教授	村 上 淳	欠
	子ども学部講師	國 田 祥 子	欠
	教務課	大 橋 俊 行	出
ノートルダム清心女子大学	情報機器教育等支援センター長、人間生活学部教授	水 野 博	出

第1回e-Learning運営委員会 議事録（案）

日 時：平成23年7月12日（火）16：45～18：15

場 所：岡山理科大学 第21号館 1階 会議室

出席者：5ページ別紙参照

議 案：

1. 前回議事録（案）の確認

前回議事録（案）の確認がなされ、原案どおり了承された。

2. 科学T r y アングル岡山について

米田岡山理科大学教授より科学T r y アングル岡山について報告がなされた。

- ・「科学T r y アングル岡山」は、文部科学省の平成20年度戦略的大学連携支援事業に採択された事業である。取組の一環として、大学コンソーシアム岡山の単位互換授業「エコツーリズム技法」を実施しているが、理系文系を問わず参加できる企画であるので、ぜひ各大学の教務担当の方々にも周知いただき、多くの学生に参加いただきたい。

3. 平成22年度VOD科目受講状況について

木村センター長より、「資料1」に基づき報告がなされた。

- ・平成22年度VOD配信科目は後期3科目、受講学生数は178名であった。学生の興味を引く科目があったこと、また加計教育コンソーシアムでVOD科目を既に実施していることもあり岡山理科大学の学生が多く受講したことが、新しい試みにもかかわらず100名を超える受講生が集まった理由であると考えている。
- ・「資料1-3～1-5」は、平成22年度連携取組事業評価報告書よりe-Learningに関連する評価を抜粋した資料である。委員の改善要求に対し、今年度に改善を図れるよう努力している段階である。

4. 平成23年度前期VOD科目受講状況について

木村センター長より、「資料2」に基づき報告がなされた。

- ・平成23年度VOD配信科目は前期6科目、受講学生数は184名であった。
- ・くらしき作陽大学から提供された音楽療法概論と食心理学の2科目については履修学生数が50名と決められており、その対応が不十分なまま募集が始まったため、岡山理科大学では早期に履修打ち切りを行い、受講したくても受講できない学生が出た。履修学生数が決められている科目の履修生募集について、岡山大学オフィスが所掌している学士課程教育委員会で早期に検討する必要があると考えている。

5. 平成23年度後期VOD科目の配信予定について

木村センター長より、「資料3」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・平成23年度VOD配信科目は後期12科目の予定である。
- ・オルガノン平成23年度後期遠隔科目について、履修生募集用のちらしおよびポスターを作成して連携校へ送付しているので、学生へ配布いただき、履修者増加のためにさらなる広報活動をお願いしたい。

6. 平成24年度VOD科目の配信予定について

木村センター長より、「資料4」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・平成24年度VOD配信科目は前期5科目、後期13科目の予定である。
- ・加計教育コンソーシアムより借用して配信していた科目について、24年度以降も継続して借用できるかどうか確認が終わっていないため、「資料4-1」には掲載していない。
- ・岡山学は、今年度後期にライブ型科目として配信し、その授業を撮影して来年度後期にVOD型科目として配信を行う予定である。
- ・来年度以降どこが責任を持って配信していくか詳細はまだ決定していないが、補助期間終了後も遠隔教育を安定して継続実施できる体制を現在検討中である。

7. e-Learning関連規程類について

木村センター長より、「資料5」に基づき説明がなされた。

- ・前回の会議内容等を踏まえ、e-Learning 関連規程類の修正を行った。赤字部分が変更箇所である。
- ・学習管理システム利用規約（案）について。
 - 第4条3(2)、「利用者は修理修繕の費用を負担しなければならない。」を「利用者は修理修繕の費用を負担する場合がある。」に変更した。
 - 免責事項の項目を削除した。
 - 附則に「本規約は、平成22年10月1日から施行する。」と記載しているが、遡って実施してよいか意見を伺いたい。
 - 規約の有効期限を「平成24年3月31日まで」としているが、オルガノン事業の継承内容が確定した時点で再度見直しを行って改訂する必要があるため、それまでの暫定的な規約ということで詳細な内容までは記載しない方向で修正を行った。
- ・コンテンツ制作ガイドライン（案）について。
 - 第6条2、受講生の前に「当該授業の」という文言を追加した。
 - コンテンツ確認項目の「大学教育連携センターは、授業等の文章化、授業等の要旨の作成、録音及び録画したものの編集・加工等を行うとき、担当講師の内容確認を必要とする。」という文言を削除した。
 - コンテンツ利用の項目で、「但し、その場合は担当講師の承諾を必要とする。」という文言を追加した。
 - 平成24年3月31日までは、大学教育連携センターを統括している岡山理科大学がコンテンツに関する著作権者という方向で進めていこうと考えている。但し、岡山理科大学がコンテンツに関する著作権の管理を行うことについて、学内の了承はまだ得られていない状況である。
 - 担当講師がコンテンツを利用する場合、大学教育連携センターへ利用申請書を提出いただく。連携大学の教職員がコンテンツを利用する場合も大学教育連携センターへ利用申請書を提出いただき、担当講師の承諾を得た上で利用を許可する。
 - 平成24年3月31日までについては、著作権者については明文化せず、権利処理の流れという補足の表を利用して運用していきたいと考えている。

- ・加藤委員より、ガイドラインの第5条3に「授業等に含まれる第三者の著作物の使用について、担当講師が一切の管理責任を負う。」と記載されているが、その部分について相談する窓口はあるのかとの質問があり、木村センター長より、センターで相談には乗れると思うが、相手方との折衝等は担当講師にお任せするとの回答がなされた。
- ・天野委員より、学習管理システム利用規約第4条3(2)について、「障害の原因が利用者にある場合」とは具体的にどのような場合なのかとの質問があり、木村センター長より、故意にサーバーに悪意を持って接触した場合はもちろん、本人が気づかずにパソコンの中にウィルスがありサーバーに何らかの影響を与えてしまった等、故意でない場合の費用負担についても想定して記載しているとの回答がなされた。
- ・天野委員より、著作権について、担当講師本人が作成したパワーポイントのデータは担当講師の著作権になるが、それを使用して制作したVODコンテンツの著作権は大学教育連携センターにあるのかとの質問がなされ、木村センター長より、作品として制作したVODコンテンツについては大学教育連携センターが著作権を主張するが、授業に関する著作権については担当講師が持っているとの回答がなされた。
- ・天野委員より、担当講師がオルガノン以外の用途でコンテンツを利用する場合、何か費用が発生するのかとの質問がなされ、木村センター長より、非営利の教育目的において利用する場合は無償で利用できるとの回答がなされた。
- ・天野委員より、この案では著作権の所在があいまいなので、大学教育連携センターで管理するならばその旨を明文化させておいた方がいいのではとの意見がなされ、木村センター長より、学内で専門の方とも相談して原案を修正し、早急に委員の方々にメール等で連絡するので、各大学で検討いただき、その案でよいか返答をいただきたいとの回答がなされた。

8. 平成24年度以降の事業継承について

木村センター長より、「資料6」に基づき説明がなされ、了承された。

(1) 将来構想委員会での審議状況

- ・将来構想委員会では、補助期間終了後の本取組の継続的な実施に向け、大学コンソーシアム岡山との組織統合の具体的な進め方等について協議を行っている段階である。
- ・大学コンソーシアム岡山への事業継承にかかる経費として、多地点接続装置の保守費用1,059千円(年額)、コンテンツ配信サーバーの保守費用1,860千円(年額)がある。現在両方とも補助金より支出しているが、連携校15大学で使用しているため、分割して負担してもらえよう委員会で検討している。さらに、遠隔教育を担当する職員を、補助金終了後も大学コンソーシアム岡山事務局に最低1名採用する方向で検討している。
- ・オルガノン事業を継続していくため新たに必要な経費として、遠隔教育を継続していくための保守費用等システム運営費として300万円、遠隔教育を担当していく職員の人件費として300万円、計600万円を向こう3年間、大学コンソーシアム岡山の事業推進費として試算し、各大学の負担については「固定額(17万円)＋変動経費(学部学生数×@100円)」という金額で委員会に提案している。
- ・今後の検討課題として、事業経費額を具体的に検討し、削減可能な部分は削減していく。

また、連携大学のカリキュラムポリシーを考慮した負担調整の可否について、例えば川崎医科大学では大半のカリキュラムが決定されており、オルガノンの遠隔教育を余り利用できない等の事情を考慮した負担を考えていくべきではとの意見も出ており、検討が必要である。

(2) e-Learning運営委員会としての継承構想

- VOD 型遠隔教育の継承方式について、この委員会でも議論いただき、具体的な方向性をまとめていただきたい。大学教育連携センターの後継組織、コンテンツの維持管理、連携大学における単位互換制度の再構築の呼びかけ、e-Learning 運営委員会の継続化などが大きな検討課題になるだろうと考えている。
- 村山委員より、文部科学省から 10 年間は事業を継続するよう指示されているとのことだが、VOD コンテンツについて非単位互換教材の配信を行うだけでも継続と言えるのかとの質問がなされ、木村センター長より、補助期間中は申請した内容に忠実に事業を行う義務があるが、それ以降はこれまでの事業内容をベースに新しい展開を実施してもよいと考えている。遠隔教育についても、補助金で導入した機器等を活用していければ、その方式や内容について大きく変化することがあってもよいと考えているとの回答がなされた。
- 村山委員より、新しい展開ということで、今後は単位互換にとらわれない方向で機器の使用を検討してみてもは。テレビ会議についても、各大学で行っている講演会や FD 研修会等を連携校に配信するなども検討してはとの意見がなされた。

出席者一覧

大学名	職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター准教授(FD部門員、FD委員会委員)	天 野 憲 樹	出
	教育開発センター助教、IT活用教育委員会委員	長 瀧 寛 之	欠
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂 宥 子	欠
	主任	平 松 倫 子	出
岡山学院大学	教授	正 司 和 彦	欠
	講師	竹 中 一 平	欠
	教授	竹 原 良 記	代理
岡山商科大学	経営学部教授、情報教育センター長	小松原 実	出
	岡山商科大学オフィス コーディネーター	矢 延 里 織	出
岡山理科大学	情報科学科教授	大 西 荘 一	出
	情報科学科教授、学務部長	榊 原 道 夫	欠
	情報科学科准教授、学務部次長	河 野 敏 行	出
	大学事務局次長、学務部事務部長	宮 本 正	欠
	学務部次長	澤 原 広	出
	情報処理センター主任	西 崎 書 彦	欠
	大学教育連携センター長	木 村 宏	出
	大学教育連携センター副センター長、情報処理センター所長	竹 内 涉	出
	大学教育連携センターコーディネーター	北 村 光 一	出
	大学教育連携センターe-Learning 専門スタッフ	岡 戸 真理子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大 槻 剛 巳	欠
	自然科学教授	虫 明 基	出
川崎医療福祉大学	学長補佐	金 光 義 弘	欠
	医療情報学科講師	小 池 大 介	出
環太平洋大学	学級経営学科講師	熊 田 岐 子	出
	情報センター員	星 野 太 一 郎	出
吉備国際大学	社会学部ビジネスコミュニケーション学科教授	佐 藤 匡	欠
	文化財学部文化財修復国際協力学科准教授	高 木 秀 明	出
倉敷芸術科学大学	産業科学技術学部教授	村 山 公 保	出
	学務部教務課長	忠 政 慎 也	出
	学務部教務課	長 谷 輝 章	出
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加 藤 充 美	出
	音楽学部教授	竹 内 京 子	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科講師	小 林 伸 行	欠
	総合人間学部生活心理学科准教授	片 岡 武	代理
就実大学	教務担当係長	矢 吹 優 子	出
	教務担当事務員	岸 本 京 子	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授	福 森 護	欠
	現代生活学部教授	森 恵 子	出
	子ども学部教授	林 修	出
	現代生活学部准教授	村 上 淳	欠
	子ども学部講師	國 田 祥 子	欠
	教務課	大 橋 俊 行	出
ノートルダム清心女子大学	情報機器教育等支援センター長、人間生活学部教授	水 野 博	出



平成 23 年度 第 2 回 e-Learning 運営委員会

1 日 時 平成 2 4 年 2 月 2 7 日 (月) 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

2 場 所 岡山理科大学 第 2 7 号館 2 階 会議室

3 参 加 者 e-Learning 運営委員

4 報告事項

(1)遠隔教育について

【会議資料番号：1】

- ・平成 22 年度および平成 23 年度遠隔科目履修者数
- ・平成 23 年度後期遠隔科目授業アンケート調査結果

(2)単位互換遠隔科目について

【会議資料番号：2】

- ・平成 24 年度ライブ・VOD 配信科目
- ・平成 25 年度 VOD 新規配信科目
- ・平成 24 年度単位互換履修生募集ポスター

5 議 題 案

(1) 平成 24 年度以降の事業継承について

【会議資料番号：3】

- ・将来構想委員会での審議状況
- ・e-Learning 運営委員会から新委員会発足について

(2) e-Learning 関連規程類について

【会議資料番号：4】

- ・著作権処理の流れ

(3) その他

5 e-Learning 運営委員会出席者一覧

大学名	職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター准教授(FD部門員、FD委員会委員)	天 野 憲 樹	出
	教育開発センター助教、IT活用教育委員会委員	長 瀧 寛 之	出
岡山県立大学	全学教育研究機構長、情報工学部教授	桂 宥 子	欠
	主任	平 松 倫 子	欠
岡山学院大学	教授	正 司 和 彦	欠
	講師	竹 中 一 平	欠
	人間生活学部教授	友 近 健 一	代理
岡山商科大学	経営学部教授、情報教育センター長	小松原 実	欠
	岡山商科大学オフィス コーディネーター	矢 延 里 織	出
岡山理科大学	情報科学科教授	大 西 莊 一	出
	情報科学科教授、学務部長	榊 原 道 夫	出
	情報科学科准教授、学務部次長	河 野 敏 行	欠
	大学事務局次長、学務部事務部長	宮 本 正	出
	学務部次長	澤 原 広	欠
	情報処理センター主任	西 崎 書 彦	出
	大学教育連携センター長	木 村 宏	出
	大学教育連携センター副センター長、情報処理センター所長	竹 内 涉	出
	大学教育連携センターコーディネーター	北 村 光 一	出
	大学教育連携センターe-Learning 専門スタッフ	岡 戸 真理子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大 槻 剛 巳	出
	自然科学教授	虫 明 基	欠
川崎医療福祉大学	学長補佐	金 光 義 弘	欠
	医療情報学科講師	小 池 大 介	出
環太平洋大学	学級経営学科講師	熊 田 岐 子	出
	情報センター員	星 野 太 一 郎	出
吉備国際大学	社会学部ビジネスコミュニケーション学科教授	佐 藤 匡	欠
	文化財学部文化財修復国際協力学科准教授	高 木 秀 明	欠
	庶務部 庶務課	黒 田 知 嗣	代理
倉敷芸術科学大学	産業科学技術学部教授	村 山 公 保	出
	学務部教務課長	忠 政 慎 也	欠
くらしき作陽大学	音楽学部教授	竹 内 京 子	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科講師	小 林 伸 行	出
就実大学	教務担当係長	矢 吹 優 子	出
	教務担当事務員	岸 本 京 子	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授	福 森 護	欠
	現代生活学部教授	森 恵 子	欠
	子ども学部教授	林 修	欠
	現代生活学部准教授	村 上 淳	欠
	子ども学部講師	國 田 祥 子	出
	教務課	大 橋 俊 行	欠
ノートルダム清心女子大学	情報機器教育等支援センター長、人間生活学部教授	水 野 博	欠
	情報機器教育等支援センター次長	加 藤 周 一	代理